



太美振興会祭は 30 回



今年で 30 回目を記念する太美振興会祭が開かれました。

会場では姉妹都市の証として愛媛県宇和島市から贈られた「牛鬼」が登場、当別牛鬼保存会によって会場をねり歩き、商売繁盛、護国豊穰、厄払いを行いました。

時折雨がちらつく中、地元に住むギター奏者関ヒトシさんの民謡ライブやオールディズのバンドで会場は盛り上がり、多くの人がステージ前でダンスを踊りました。

東京ディズニーランドペア券など、景品が盛りだくさんの大抽選会も人気でした。

(8月5日)

レディハモが全国大会に



町内のコーラスグループ「レディースハーモニー（堀内教子代表）」が7月に帯広市で行われた「おかあさんコーラス全道大会」で選ばれ、東京の全国大会へ出場します。全国大会を前に、記念コンサートがふれあい倉庫で開かれました。

これまでの愛唱歌や童謡、全国大会本番で歌う「しずかにしてね」など9曲を披露しました。会場に集まった120名を前に、堀内代表は「東京の舞台で精一杯がんばれるよう、一生懸命練習しています。」と話していました。

(8月7日)

8 台目の AED



町内の公共施設で安心して活動ができるようにと、札幌北法人会当別支部（宮永雅己支部長）より、AED（自動体外式除細動機）の寄贈がありました。

同支部からは、これまで7台が寄贈されていますが、電池切れや、機材の管理に対応できるなど、これまでのものより機能がアップされています。「FIKA」に配備される予定です。 (8月2日)



木屋路さんが農水大臣賞



道内の切花の品質を競う第32回北海道花き品評会において木屋路喜代史さん（若葉町）が出品したオリエントルユリが切花の部で最優秀賞（農林水産大臣賞）に輝きました。

木屋路さんはユリに取り組んでから15年、「土壌の状態を最良に保つのが難しいが、土壌診断と肥料管理、そして家族で仕事を分担したのが良かった。」と話しています。このほか、菊田雄一さん（蕨岳）が日本花き生産協会賞、泉昭彦さん（川下）が花卉園芸新聞社賞と北海道花卉商協同組合賞を受賞しました。（8月21日）

ルールとマナーは人間力の第一歩



正しい挨拶や礼儀作法を身につけ、青少年教育に役立てるマナーキッズプロジェクト（全国組織）の北海道支部が町内で設立（江口正尊支部長）され設立記念式典が行われました。

翌22日には当別小学校の4年生を対象に、ショートテニスの技術指導を通して体であいさつと礼儀を覚えるプログラムを実践しました。また会議室では保護者向けに「マナーは堅苦しいものではありません。相手に嫌な思いをさせないことです。」と小笠原流のしつけについて講演がありました。（8月21日）



広告

広告

広告

広告